

人文科学研究所研究叢書

35.『民国後期中国国民党政権の研究』

2005年3月31日発行

中央大学人文科学研究所 編 中央大学出版部発行

本体価格7,000円（税別）

ISBN 4-8057-4208-9

まえがき	
序論—民国後期中国における国民党政権の鳥瞰図	斎藤 道彦
第一部 支配の理念と構造	
第一章 孫文と蒋介石の三民主義建国論	斎藤 道彦
第二章 抗戦期の国民党中央党部	土田 哲夫
第三章 国民党政権と南京・重慶『中央日報』	中村 元哉
第四章 国民党政権の地方行政改革	味岡 徹
第五章 国民政府軍の構造と作戦—上海・南京戦を事例に	笹原 十九司
第六章 抗日戦争における中国の国家総動員体制 —「国家総動員法」と国家総動員会議をめぐって—	姫田 光義
第二部 国民統合と地域社会	
第一章 日常生活の改良／統制 —新生活運動における検閲活動—	深町 英夫
第二章 抗戦期におけるYWCAの活動と女性動員	石川 照子
第三章 武漢・南京政権成立後の広州 —一九二七年一月～三月	塩出 浩和
第四章 重慶戦時糧食政策の実施と四川省地域社会	笹川 裕史
第三部 国際関係と辺疆問題	
第一章 「田中上奏文」と日中関係	服部 龍二
第二章 華北抗戦と国民党政権	光田 剛
第三章 第二次世界大戦末期の中ソ関係と中国辺疆 —アルタイ事件をめぐる中ソ交渉を中心に	吉田 豊子